

わたしたちの命を守ろう

～防災への第一歩「我が家のルールブックづくり」～

思考力・判断力・表現力, 主体性

1 日 時 10月8日(金) 5校時

2 学 級 第4学年3組(男子19名, 女子18名 計37名)

3 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、1学期に学習した災害に対する正しい知識をもとに、自分と大切な家族や地域の人々の命を守るためにできることを主体的に考え、行動できる力を身につけさせることを目標として設定した。近年、異常気象による集中豪雨、温暖化、地震、感染症など、子供達を取り巻く環境の中で、予想もつかない災害が頻繁に起こっている。また、今後35年の間に南海トラフ大地震が起こることも予想され、児童は、これから先の将来も、災害から身を守るための知識をもとに主体的に行動することを余儀なくされるであろう。自然災害の恐ろしさは測り知れず、児童にとっては太刀打ちできない問題だとも考えられる。しかし、そんな中でも、今、無事にある10歳の自分の尊い命に感謝し、家族・地域の人々のために自分でもできることを考え、災害が起きた時に社会の一員として主体的に活動しようとすることは、児童がこれからの生き方を考えていく上で大変重要な資質・能力である。小学生なりに自助、共助の意識を高め、防災についての知識を深め、その備えに対する小さな一歩を踏み出せる児童の育成を目指し、本単元「わたしたちの命を守ろう～防災への第一歩『我が家のルールブックづくり』～」を設定した。

(2) 児童観

本学年の児童は1学期に近年の、日本で起きた災害や感染症の中から自分が関心をもったテーマごとに、災害の様子、被害の大きさ、災害にあった人の体験談などについて、新聞記事やインターネット、書籍などを使って調べ学習に取り組み新聞にまとめた。これまでも災害の名前を聞いたことがあり何となく知っていたことが、活動を通して詳細を知ること、自分達が生まれる前に大きな災害が起きていたことに驚き、恐怖心や悲しみを抱いた児童もいた。学習後に行った防災についての児童アンケートでは、次のような結果が得られた。

	はい (思う)	いいえ (思わない)	わからない
1 学期の学習を通して防災に関心をもつようになった。	6 5 %	2 2 %	1 3 %
家族で防災の話をする。	4 5 %	5 2 %	3 %
家に災害への備えがある。	4 2 %	5 8 %	0 %
自分の家の近くの避難場所を知っている。	7 5 %	2 1 %	4 %
自分の家の近くのハザードマップを見たことがある。	1 7 %	8 2 %	1 %
自分の家の周りの危険場所について知っている。	5 9 %	3 8 %	3 %
これから先、どこかで災害にあう可能性があると思う。	7 9 %	1 6 %	5 %

(4年生 106人中)

この結果から、半数以上の児童が防災に関心をもっていることが分かった。しかし、防災リュックを持っている児童は全体の1割に留まり、ハザードマップを見たことがある児童は、全体のおよそ2割に留まった。災害への備えがあると答えた児童の家には、たんすの突っ張り棒や、家電が地震の揺れに耐えるためのシートやテープ、食器棚の扉が開かないバンドなどが取り付けられているようである。家庭での備えはあるものの、自分の防災リュックを準備している児童、家の周りの危険場所や避難場所については、知らない児童が多い。また、今年8月中旬の長雨のときに、何か対策をしたかという質問に対しては、「2階へ大切なものを移動させた。」、「あえて何もせずに、ずっと家にいた。」、「怖くて何もできなかった。」という実態があった。児童は防災への関心はあるものの、具体的に自分の命を守るための備えは行っていない。

(3) 指導観

指導に当たっては次の三点に留意する。

一点目は単元の活動内容を明確に示すことである。本単元では、自分や家族の命を守るためにできることを考え、災害時にどのような行動をとればよいかを家族で話し合うことのできる「わが家の防災ルールブック」を作成する。そのことを単元の最初に示すことで、ルールブックの中にどのような項目を入れるとよいか、どのようなことに気をつけてルールブックを作成すればよいかを児童が意識しながら学習できるようにしたい。また、本活動は、災害からくらしを守る自助に当たることを意識させたい。児童が、自助・共助・公助の3つの助け合いについて、思考ツール(Yチャート)を使って整理し、その意味を自分とのかかわりの中で理解させたい。

二点目は、社会科「自然災害からくらしを守る」の学習と関連付け、教科書の資料や副読本の資料、地域の専門家の話や防災TV番組を活用しながら学習することである。広島県庁、大竹市の防災課の方との交流場面を設けたり、防災新聞、防災ブックの内容やクイズを取り入れたり、NHK For School、広島県減災プロジェクト「はじめの一步」を鑑賞させたりして、児童がより具体的に災害の恐ろしさや避難所生活を想像し、防災知識を高めることができる工夫をしたい。

三点目は、自分の命を支えてくれている地域の人々や家族とのつながりに気付かせるような交流場面の設定である。本単元末に完成する「わが家の防災ルールブック」は、各家庭において災害時にどのような行動をとるのかを話し合い、書きとめておくものである。そのため、自分の家族構成に合った「防災リュック」の中身を選んだり、自分の住んでいる地域の避難所や避難ルートを調べ確認したりする活動を行う。また、地域や家族に宛てた手紙を取り交わすことを通して、家族の大切さや今ある自分の命の尊さに気付かせ、三学期の学習である「感謝の会」につなげていきたい。

評価は、活動後のリフレクションシートや、単元末に完成する「わが家の防災ルールブック」で行う。児童が自分と大切な人の命を守る意味とそのために必要なことに気づき、主体的に考え内容を検討しているか、また今ある命の大切さに気付き、より高い防災意識をもって、これからの生活に活かそうとしているかどうかを見取っていく。

4 単元の目標

- 自分と大切な人の命を守る意味とそのために必要なことについて、主体的に考えることができる。
- 自分の命を支えてくれている地域の人々や家族とのつながりに気付き、これからの行動を見つめ直すことができる。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 自然災害や防災について知るとともに、災害から身を守るための様々な取組を理解している。</p> <p>② インターネットや図書などによる調査を、目的に応じた方法で実施している。</p> <p>③ 命を守る意識の高まりは、自然災害や防災と自分たちの生活との関係を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>① 自分たちの命を守る防災について課題を設定し、解決に向けて自分たちにできることを見通している。</p> <p>② 調査する対象に応じた方法を選択し必要な情報を収集している。</p> <p>③ 複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、解決に向けて考えている。</p> <p>④ 活動を通して学んだ防災に関する情報を生かして、防災リュックを作ったりルールブックにまとめたりしている。</p>	<p>① 自然災害や防災に関心を持ち自分の意思で探究的な学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分と異なる友達の考え、専門家の意見を生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>③ 自然災害や防災と自分たちの生活の関わりに気付き、命を守る行動の重要性を伝えようとしている。</p>

6 単元のルーブリック

知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
①	A	自然災害や防災についてこれまでの生活や学習，他教科と関連付けて，自助・共助・公助の観点に立ち，自分たちにできることを考え調べたり防災リュックを考えたりしている。	①	A	自分たちの命を守るためにできる取組について，これまでの学習や他教科と関連させて課題を決め，解決に向けて見通している。	①	A	わたしたちの大切な人や自分の「命」を守るためにできることをこれまでの生活や学習，他教科と関連付けて，考え取組もうとしている。
	B	自然災害や防災について自助・共助・公助の観点に立ち，自分たちにできることを考え調べたり防災リュックを考えたりしている。		B	自分たちの命を守るためにできる取組について，課題を決め，解決に向けて見通している。		B	わたしたちの大切な人や自分の「命」を守るために自分たちにできることを考え取組もうとしている。
②	A	自分の家の周りの状況や災害場面に応じた，情報を収集し，災害に応じた避難場所や避難ルート，連絡方法について目的に応じた複数の方法で調べている。	②	A	自分や家族の避難所生活を想像し，生活上欠かさない「食べる，清潔，安全，安心」の項目ごとに対象に応じてより必要な情報が集まる方法を選択し情報収集している。	②	A	自分の意志で探求的に，家族構成に応じた中身を取捨選択し，ルールブックや防災リュックを作ろうとしている。
	B	災害に応じた避難場所や避難ルート，連絡方法について目的に応じた方法で調べている。		B	自分や家族の避難所生活を想像し，生活上欠かさない「食べる，清潔，安全，安心」の項目ごとに対象に応じた方法で，情報収集している。		B	自分の意志で探求的に，ルールブックや防災リュックを作ろうとしている。
③	A	自然災害や防災と自分たちの生活が関わっていることへ気付けたことは，探究的に学習してきたことによさであると複数の場面で気付いている。	③	A	これまでの学習や友だちの意見などを参考に自分の家族構成に応じた防災リュックの中身を取捨選択しようとしている。災害に応じた避難場所，避難ルート，連絡方法の情報から自分に必要な情報を選択し，実際の場面を想定し考えている。	③	A	出来上がった「我が家の防災ルールブック」等を生活の中に生かし，家族や地域の人々に発信しようとしている。

	B	自然災害や防災と自分たちの生活が関わっていることへ気付けたことは、探究的に学習してきたことによさであると気付いている。		B 自分の家族構成に応じた防災リュックの中身を取捨選択しようとしている。 災害に応じた避難場所、避難ルート、連絡方法の情報から自分に必要な情報を選択し考えている。		B 出来上がった「我が家の防災ルールブック」等を生活の中に生かそうとしている。
		④	A 自分の「命」が地域の人々や家族とのつながりによって支えられていることに気づき、その思いや取捨選択した情報を活用してポスターやルールブック等で表現しようとしている。			
			B 自分の「命」が家族とのつながりによって支えられていることに気づき、その思いや情報をポスターやルールブック等で表現しようとしている。			

7 単元の全体計画（全 26 時間）

次	学習内容	評価			
		知・技	思判表	主体的	評価規準 (評価方法)
1	1 <課題の設定①> ○災害について調べ感じたことや疑問を振り返り、わたしたちの大切な人や自分の「命」を守るためにできることを考える。(1)		①	①	○一学期の学習を振り返り、「命」を守るためにできることに見通しをもって取り組もうとしている。 ○わたしたちの大切な人や自分の「命」を守るために自分の生活に目を向け考えようとしている。 (発言・ワークシート)
	○自助・共助・公助の観点に立ち、これから自分たちのできることを考え調べようとする。(1)	①			○防災課の方の話を思い出し、広島県防災キャラクターの意味について考え調べようとしている。 (行動・ワークシート)
	2 <情報収集①> ○避難所生活について調べる。 (食べ物が無い、電気・水が使えない、ストレスがかかる、プライバシーがない、不衛生、またいつ災害が起きるか分からない)(2)		②		○自分や家族の毎日の生活を振り返り、避難所生活で困りそうなことを「食べる、清潔、安心、安全」の項目ごとに調べている。 (発言・ワークシート)
	3 <整理・分析①> ○災害を想定し、家庭ではどのような備えができるかを考える。(2)	①	③		○家族構成に応じた必要物があることを考えている。 ○自分と家族の命を守るための防災リュックの重要性に気づいている。 (発言・ワークシート)
	○自分の家族構成に合わせて選んだ「防災リュック」に入れるものについて考えを交流する。(本時)(1)		③		○友だちとの意見交流を通して、自分の家族構成に応じた中身を取捨選択しようとしている。 (発言・ワークシート・リフレクションシート)
	4 <創造・表現①→実行> ○自分の選んだ「防災リュック」を決定し、自分の「防災リュック」を作る。(3)		④	②	○家族構成に応じた防災リュックの中身を決定し、ルールブックに記入し防災リュック作りができています。 ○防災リュックを作る活動を通して防災について自分のこととして取り組んでいる。 (行動 ルールブック)

2	5 <情報の収集②> ○避難場所や避難ルート，連絡方法や災害伝言ダイヤルについて調べる。 (2)	②		○災害に応じた避難場所や避難ルート，連絡方法について調べまとめている。 (ハザードマップ・パンフレット)
	6 <整理・分析②> ○それぞれの避難場所や避難ルート，連絡方法を交流し，自分の住んでいる地域や家族構成に合ったものを選ぶ。 (2)		③	○災害に応じた避難場所，避難ルート，連絡方法の情報から自分に必要な情報を選択することができている。 (発言・リフレクションシート)
	7 <創造・表現②> ○避難場所や避難ルート，連絡方法を決定し，「わが家の防災ルールブック」に記入する。(2)		④	○自分にとって必要な情報の中から，避難場所や避難ルート，連絡方法をルールブックにまとめている。 (ルールブック)
	○大竹市防災キャラクターを考える。 (2)		④	③ ○自助・共助・公助の観点から地域に発信していける防災キャラクターを自分なりに考えることができている。 ○ 防災キャラクターを考える活動を通して防災の大切さを伝えようとしている。 (ワークシート)
	○防災ポスターを描く。(2)		④	③ ○自分にできそうな備えや学習したことを呼びかけるポスターを描くことができている。 ○防災ポスターを考える活動を通して防災の大切さを伝えようとしている。 (防災ポスター リフレクションシート)
3	8 <実行→整理分析③> ○作成した「わが家の防災ルールブック」をもとに実行する。(3)			③ ○出来上がった「我が家の防災ルールブック」を生活の中に生かそうとしている。 (リフレクションシート)
	9 <振り返り③> ○今生きていることに感謝し，家族の人に手紙を書き，「わが家の防災ルールブック」を仕上げ，家族に伝える。(2)		④	③ ○自分の「命」がわたしたちの住んでいる地域の人々や家族とのつながりによって支えられていることに気づき，その思いを表現しようとしている。 ○ルールブックを仕上げる活動を通して防災の大切さを伝えようとしている。 (ルールブック)
	○自然災害や防災と自分たちの生活とのかかわりについて，これまでの活動を振り返る。(1)	③		○自然災害から命を守る防災に対する見方や考え方の変化や自分の成長について振り返っている。 (リフレクションシート)

8 単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

資質・能力	目指す児童像
思考力・判断力・表現力	地域の人々や家族と積極的に関わり，話を聞いたり社会科で学んだことを取り入れたりしながら，命の大切さについて考え，自分の家庭で活用することのできる「防災ルールブック」として表現することができる。
主体性	自分の命を支えてくれている地域の人や家族とのつながりに感謝の気持ちを持ち，命を大切にしていくなために，これからどのように行動するかを考えることができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

これまでの学習から，自分と家族に合った防災リュックの中身を考えることができる。

(2) 準備物

プラスグッズ，ワークシート

(3) 展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意事項	【観点】 評価規準 (方法)
	T：主な発問・指示 C：予想される児童の反応	○指導上の留意事項 ▲支援を要する児童への手立て	
見 通 し を 持 つ	1. 前時を想起する。 T: 前回の学習では，2つの視点で必要なものを考えましたね。 C: 私は，自分が選んだプラスグッズを持ってきました。	○活動を振り返ることで，これまでの内容を確認し，それを生かした本時の活動となるようにする。 ▲実物を用意することで，共通のイメージをもたせ，考えを交流できるようにする。	
自 分 の 考 え を も つ	2. 本時の課題を確認する。 ㊦ 自分と家族の命を守る防災リュックの中身を考えることができる。		
考 え を 交 流 す る	ループブック(思判表③) 児童との評価共有 A: (+)学習したことや友だちの考えを生かして考える。 B: 自分や家族に合ったリュックの中身を選ぶ。 3. 自分の選んだ防災リュックの中身を交流する。 (ペア→全体) T: 理由を明確にして，プラスグッズをペアで紹介しましょう。 C: 私の家には，赤ちゃんがいるので，おむつが必要です。	○「避難所での生活を想像しあったら便利だと思うもの」，「自分や家族になくてはならないもの」という視点を確認する。 ○教師が具体物を示し，紹介することで，理由を明確にして発表できるようにする。 ○前時に作成した，ワークシートを活用しながら，自分が選んだものを見せ，理由をつけて発表できるようにする。	【思・判・表】 ○友だちとの意見交流を通して家族構成に応じた必要物があることを考えている。 (発言・ワークシート)

<p>振り返る</p>	<p>C:冬の避難所は寒いと思うので、カイロがあるといいと思います。私のおばあちゃんは寒いと身体が痛くなるからです。</p> <p>C:僕の家はペットがいるので、ペットフードを持って行きます。</p> <p>4. 振り返りをする。</p> <p>①ワークシートを見直し確認する。</p> <p>②リフレクションシートに記入する。</p> <p>T:今日の学習で分かったこと、感じたことをリフレクションシートに書きましょう。</p> <p>C:冬の避難所は寒いので、私も防寒グッズを持って行こうと思います。</p> <p>C:ロープは、いろいろな使い方があることを知りました。</p> <p>C:まだ作っていないので、自分で選んだ防災リュックを作ってみました。</p>	<p>○説明を聞いて、疑問に思ったことや、感想を自由に発言してよいことを伝える。</p> <p>○自身の家族構成を根拠に選んだものを示すことで、自分だったらどうするかを考えることができるようにする。</p> <p>○リフレクションシートへの記入時に、グッズの訂正・加筆を行い、新しく気づいたことや、友だちの話を聞いて思ったこと、分かったこと、これからやりたいことなどについて振り返るようにする。</p>	<p>振り返りの評価【思・判・表】</p> <p>A:これまでの学習や友だちの意見などを参考に自分の家族構成に応じた防災リュックの中身を取捨選択しようとしている。</p> <p>B:自分の家族構成に応じた中身を取捨選択しようとしている。</p> <p>(Xチャート・リフレクションシート)</p>
-------------	---	---	--

(4) 板書計画

🕒 自分と家族の命を守る防災リュックの中身を考えることができる。

A (+)学習したことや友だちの考えを生かして考える。
B 自分や家族に合ったリュックの中身を選ぶ。

☆避難所での生活を想像し、あったら便利だなと思うもの
☆自分や家族になくてはならないもの

理由

食べる

その他

安心

安全

・

・

・

・

⑤○○ちゃんの言うように私も○○を準備しよう。
家族のことを思って○○だけは準備したいな。
防災リュックを作ってみて、運べるか実践してみたいな。
避難所は、ストレスがたまるので、心のケアができるグッズも必要だと思いました。

せいけつ